

2020年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491600027	事業の開始年月日	平成23年11月1日	
		指定年月日	平成23年11月1日	
法人名	医療法人社団 愛友会			
事業所名	グループホームあいかわ			
所在地	( 243-0303 ) 神奈川県愛甲郡愛川町中津2328番地			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	令和2年9月23日	評価結果 市町村受理日	令和3年2月8日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/">http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームは、当たり前前の生活を自分らしく、安心して過ごせるホーム(家)を目指しています。ご利用者様の今までの人生を大切に、温かい心で寄り添えるパートナーになれるよう、また、健康で過ごせるよう小さな体調の変化を見逃さないよう、日々努めています。緑多い自然に囲まれ、散歩の道ながら、出会う地域の方達との会話。ご利用者様のこれからの人生の良きパートナーになれるよう努めています。
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和2年11月12日	評価機関 評価決定日	令和3年2月2日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、小田急線「本厚木」駅または「海老名」駅からバスで「春日台1丁目」で下車、幹線道路から9分程入った住宅地にあり、道路を挟んだ向かい側には諏訪神社があります。同一法人が運営する小規模多機能型居宅介護事業所が1階にあり、2階と3階は各ユニットのグループホームとなっています。明るいピンク系の外装で、駐車場も完備しています。
<優れている点> 事業所を運営する医療法人が感染症対策等への周知を行うとともに、運営面でもタブレットを導入し事務作業の効率化も進めています。また、職場環境の改善にも努力し、敷地内に会議兼休憩スペースも設置しています。コロナ禍の中、職員の感染予防意識も高く、地元役場もマスクやフェイスシールド、ガウンの供給をし、絶えず高齢者施設への目配りを行っています。
<工夫点> コロナ禍で外出や面会などの自粛が求められている中、入居者には目に見えないストレスが増えています。ストレス解消のため(人通りの少ない時に)事業所前の諏訪神社の境内に、車椅子1名、歩ける人1名と職員1名計3名の少人数体制で、順番に散策できるよう支援しています。また、職員が役場などへ行くときにも入居者を乗せ、市内散策や買い物などをしてストレスの解消に努めています。家族には、入居者の着替え交換を持って来てほしいと伝え、入居者とガラス越しではありませんが会える機会を作るよう工夫しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームあいかわ
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入職時には、必ず、事業所理念を説明しており、玄関に掲示、身近に理念を感じて実践に繋げる様にしています。	理念は玄関に掲示し、毎日事業所に入る時に意識が行くようにしています。また、入職時にグループホームあいかわの理念を説明し、職員名札の裏に印刷していつでも見られるようにしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	どんど焼き、子供神輿、盆踊り等、また、散歩の時に会った畑の方から、野菜をいただいたりすることもあり、日常的に交流しています。	コロナ禍の中で地域との交流は出来ていないのが現状ですが、個別には畑を作っている地域の人から野菜をもらったりなど交流が続いています。近隣への散歩や外出の際などは必ずマスクをするようにしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	今年は、コロナ感染症の影響で、早々と中止が決定してしまいましたが、例年ですと、毎年、中学生職場体験を受け入れています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今年は、コロナ感染症の影響で、現在まで予定していた会議は、中止となっていますが、役場やご家族には、2か月ごとの事業所報告をお渡し、行事や事故、入退居等、施設の現状を知って頂いています。	コロナの影響で今年度の運営推進会議は中止しています。事業所の報告は2ヶ月に1回役場に提出しています。家族にも月例報告と合わせて送っています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	今年は、コロナ感染症のこともあり、役場から衛生用品を頂けたりも加わり、申請・報告、後見、相談等、頻繁に赴くことが多くなっており、密な連絡を取っています。	コロナ禍の中、役場からも積極的な支援を受けています。高齢介護課と地域包括支援センターが同じフロアにあり行きやすく、密な連携が取れ、協力関係を築いています	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアに取り組んでいます。しかし、玄関の施錠は、安全のために行っていきます。	身体拘束をしないことを前提に支援しています。過去に車いすの利用者で立つと転んでしまう人がいた際には、家族の了解を得たうえで、やむを得ず職員の目が届かない状況の時にだけ、安全のために立ち上がらないよう対応した事例があります。外部研修は折をみて実施しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人研修や事業所研修等、年1回と限らず繰り返し実施しているテーマです。現場でも言葉遣いでも気になる事案があれば、すぐに注意喚起しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、日常生活支援員の活用もあり、新たに、成年後見の活用に向けての事案もあつたりするので、管理者や職員はある程度、制度を理解していると思います。また、活用出来る様、支援していきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	昨年度には、入居、退居が複数あり、利用者や家族に十分な説明を行い理解、納得を図れる様、努力しました。今後も、努力していきたいと思っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関には、意見箱が設置されており、自由に意見を表すことが出来ます。また、電話や口頭でも、意見があつた場合には、管理者と職員は、意見や要望を共有し、運営に反映させるようにしています。	家族から面会の要望の電話連絡が多く増えていますが、コロナ禍の中で面会が出来ない状態です。事業所からも連絡をするように心がけ、意見の反映や情報の共有に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	法人では、職員専用の意見箱を各事業所に設置し、職員の意見や要望を聞く機会を設けています。	法人への要望は職員が直接意見箱に入れる形式となっておりそのまま法人に届けています。職員の共通の意見についてはカンファレンスで話し、個別のものは日常の中で聞く機会を設け、反映しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、管理者や職員が、向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めていると思います。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者は、管理者や職員が、向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めていると思います。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	例年であれば、社会福祉法人等代表者会議等に参加し、交流や情報交換をしていますが、現在は、コロナ感染症の影響で、電話等の交流に限られています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で、ご家族や本人より、情報を得て、職員間でアセスメント情報を把握し、ご本人が安心して暮らして行ける様、支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	初期に築く家族との信頼関係は大事にしています。より良い関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初期の対応では、ご本人とご家族で多少の違いがあることもあるので、必要としている支援を見極めるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	立場にこだわらず、家で暮らしているような家庭的な雰囲気作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族が来訪時などに、意見や要望を言って貰える様な環境作りを心掛けています。電話のやりとりなど、自由にして頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人が、希望されるお店に行ったり、知人との手紙のやりとり、電話、外出など自由にして頂き、馴染みの人や場所との関係が途切れない様、支援しています。	コロナの影響で面会の機会はありませんが、手紙・電話は自由にできるよう支援しています。季節の衣替えの服を持ってきてもらう時などに、玄関のガラス越しに声が届き、顔も見られるような工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立しない様、注意を払っています。			
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了時には、困った時には、いつでも相談に来てくれるよう声掛けをしています。ご家族が、その後の経過や現在の様子を話しに来訪されることも多々あります。			
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人本位に支援出来る様、努めています。	利用者の思いや意向の把握に努めています。困難な場合にもなるべく選んでもらうようにしています。ぬり絵やレクリエーションなどの時も言葉掛けをして意向の把握をし、様子見をしています。利用者の意向で役場に郵便物を一緒に取りに行く時にも把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族から得た情報や生活歴などは、職員間で共有しています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人記録に水分・食事・排泄・服薬・生活の様子等を記録し、現状の把握に努めています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	一か月に一度は、ケアカンファレンス会議を開催し、職員間で話し合いをします。ご本人やご家族の希望も伺いながら、現状に即した介護計画を作成しています。	基本的に変化はあまりなく、大きくは変わりませんが、それでもコロナ禍の中で認知症が進んできたとみられる利用者も見受けられます。職員間で話し合い、本人や家族の希望を確認しながら、現状に即した介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録に水分・食事・排泄・服薬・生活の様子等を記録し、現状の把握に努めています。また、申し送りノートやケアカンファレンス会議等で、情報共有しながら介護の統一を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	外部受診など、ご家族が同行出来ない時には、施設で対応しています。ニーズには柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の方々からの情報や、運営推進会議等で得た情報を活かして、ご利用者が暮らしを楽しむ事が出来る様、支援しています。ボランティアの来訪（現在は中止）や児童館へご利用者と職員でダンボールを持って行ったりします。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な往診・一般検査・訪問看護・訪問歯科を実施しています。外部受診にも対応しています。	月4回の定期的な往診と訪問看護、半年に1回の一般検査は、法人の医療機関が実施しています。月4回の訪問歯科もあります。皮膚科、脳精神科などの外部受診は家族が対応していますが、場合により事業所も外部受診を支援しています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	月4回の訪問看護時に、職員は看護師にご利用者の体調の相談をしたり、アドバイスを受けています。また、看取りの方がいる時には、研修実施やきめ細やかなアドバイスを貰い、職員の不安感が軽減していると思います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院中には、ご家族や病院関係者と相談しながら、安心して治療を受けられるよう支援しています。また、早期退院を目指し、病院関係者との情報交換を密にしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用契約時に重度化した場合や終末期に向けた方針や事業所ですることの説明し、方針を共有します。状況を把握しながら、柔軟に対応出来る様、支援しています。	契約時に看取りの指針を説明しています。終末期が近づいた際には、本人と家族に事業所での看取りについて、医師と共に具体的な説明を行っています。その人の状況により、希望を聞きながら柔軟に対応しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時連絡先を掲示しています。廊下掲示板に避難経路を掲示しています。消防署のBLS研修等を推奨しています。緊急時の対応は、毎年、法人研修のひとつになっているテーマです。実践力に関しては、十分とは言えないと思います。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練は年2回実施していますが、様々な場面を想定しての訓練は十分とは言えないと思います。	事業所は2・3階にあるため火災の避難訓練の際は、それぞれのベランダに出て救助を待つことになっています。様々な場面を想定した訓練はこれからです。ライフライン供給停止時の備蓄は3日分用意し、備蓄管理簿で管理しています。	備蓄管理表上では、数量のチェックはされていますが、(賞味期限含む)期限の切れた食品も含まれており、備蓄品の再点検を定期的にも期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	事業所理念・ケア理念・職員行動指針を玄関ホワイトボードに掲示し、出勤時や退勤時に確認出来る様にして、注意喚起しています。	職員は事業所理念と同様に、人格の尊重とプライバシーの確保について熟知し、利用者に対応しています。職員は利用者の話に真摯に耳を傾けつつ、一人ひとりそれぞれの人格やプライドを傷つけることの無いよう支援しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者が日常生活の中で自己決定できるような声かけの支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースは大切にしています。なるべく希望に沿えるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日の衣服をご自分で選んで頂いたり、化粧やマニキュアを望まれるご利用者にはそのようにしています。訪問カットの際には、ご自分で髪型を決められたりします。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むき・もやしのひげ取り・お茶入れ・テーブル拭き・配膳・下膳・食器拭き等、ご利用者が職員と共に、出来る事はやっていただけるよう支援しています。	食事前後の手伝いは、利用者の生活力を維持する上でも欠かせないものになっています。月1回以上のイベント食やレクリエーションを設け、利用者が自分でホットケーキを焼いたり、わいわいしながら食事を楽しめるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事に関しては、タイヘイに依頼しており、栄養バランス・メニュー表・作り方納品等をしています。調理は職員が主になって作ります。調理時に、職員が、その方の状態に合った形状にします。水分摂取量には注意しています。好みの物の買い物は、職員がしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、その人に合った口腔ケアを実施しています。月4回の訪問歯科の際に、助言・相談・指導を受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	電子記録入力のみではなく、排泄チェック表を用意し、紙面を見ればすぐわかる様、工夫しています。気持ち良く過ごしていただけるよう、自立に向けた支援に努めています。	電子記録入力や排泄チェック表により、一人ひとりの排泄パターンを把握し定期的に声掛けやトイレ誘導を行っています。また排便状況の変化にも注意し、往診医師や訪問看護師に相談して、その人に合った排泄の自立支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	電子記録入力のみではなく、排泄チェック表を用意し、紙面を見ればすぐわかる様、工夫しています。運動・食べ物・下剤等、排便には注意を払っています。自立に向けた支援に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴を楽しみにしているご利用者は、多いので、なるべく希望に沿える様にしています。しかし、入浴時間帯は決まっているので、その範囲内での希望に限られています。入浴剤や湯温などは、なるべく希望に沿える様、配慮しています。	入浴は週2回以上、午後1時から3時の間に支援しています。入浴を楽しんでいる利用者が多く、入浴剤や湯温、時間など一人ひとりの希望に添えるよう配慮しています。3階ユニットには入浴用リフトを使用する利用者もおり、喜ばれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣やその時々状況に応じて休息や安眠出来る様、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	その日に服用する薬は、薬局からセットされたものを用いて、服薬支援しています。職員間で薬の情報は共有して、変更時の情報も速やかにし、病状の把握に努めています。服薬支援の時は、職員2人で、ダブルチェックしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	近隣の散歩は全員の方に支援していますが、時々、健脚の方同志で、少し遠出の散歩等もしています。また、喫煙希望の方には、職員付添のもと、ホーム庭の喫煙所まで同行支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的には、近隣の散歩をしています。コロナ感染症の影響で、例年どうりには、実施出来ていません。	利用者のストレス解消のため、事業所の前の諏訪神社を人通りの少ない時に、車椅子の人と歩ける人の2名と職員1名の少人数体制で境内を散策しています。また管理者が車で役場へ行く時などに、希望により利用者と一緒に町内散策をすることもあります。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員付添のもと、日用品の購入は、コンビニエンスストア等に行き、ご自分でお金を支払われている方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話や手紙のやりとりは、ご利用者の希望に沿って、支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアや廊下の壁には、季節感のある製作レクの作品やカレンダー、行事写真が掲示してあります。フロアのテーブルでの席は、決まっています。	通路の両側にピクチャーレールがあり、写真や季節感のある切り紙などを掲示しています。居間兼食堂は南東向きで明るく、見晴らしが良い空間になっています。利用者は互いの顔が見えるテーブル配置になっており、製作レクリエーションやゲーム、コーラスを楽しんでしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアのソファの位置を変えたり、植物を置いたり、花を飾ったり、くつろげる場所の工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人の希望に沿って、テレビや机を置いたり、ラジオを置いたり、ご自由にして頂いています。	各部屋には加湿器付空気清浄機を設置しています。開放的な雰囲気が好きな人は入口のドアを閉めずに暖簾を代わりに使用しています。部屋は自分の好みで、タンス、机、テレビなど思い思いの品を持ち込み、居心地よい環境にしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	すべてバリアフリーとなっていて、安全かつ自立生活がおくれるように工夫されています。		

事業所名	グループホームあいかわ
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入職時には、必ず、事業所理念を説明しており、玄関に掲示、身近に理念を感じて実践に繋げる様にしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	どんど焼き、子供神輿、盆踊り等、また、散歩の時に会った畑の方から、野菜をいただいたりすることもあり、日常的に交流しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	今年は、コロナ感染症の影響で、早々と中止が決定してしまいましたが、例年ですと、毎年、中学生職場体験を受け入れています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今年は、コロナ感染症の影響で、現在まで予定していた会議は、中止となっていますが、役場やご家族には、2か月ごとの事業所報告をお渡し、行事や事故、入退居等、施設の現状を知って頂いています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	今年は、コロナ感染症のこともあり、役場から衛生用品を頂けたりも加わり、申請・報告、後見、相談等、頻繁に赴くことが多くなっており、密な連絡を取っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアに取り組んでいます。しかし、玄関の施錠は、安全のために行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人研修や事業所研修等、年1回と限らず繰り返し実施しているテーマです。現場でも言葉遣いでも気になる事案があれば、すぐに注意喚起しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、日常生活支援員の活用もあり、新たに、成年後見の活用に向けての事案もあつたりするので、管理者や職員はある程度、制度を理解していると思います。また、活用出来る様、支援していきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	昨年度には、入居、退居が複数あり、利用者や家族に十分な説明を行い理解、納得を図れる様、努力しました。今後も、努力していきたいと思っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関には、意見箱が設置されており、自由に意見を表すことが出来ます。また、電話や口頭でも、意見があつた場合には、管理者と職員は、意見や要望を共有し、運営に反映させるようにしています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	法人では、職員専用の意見箱を各事業所に設置し、職員の意見や要望を聞く機会を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、管理者や職員が、向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めていると思います。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者は、管理者や職員が、向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めていると思います。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	例年であれば、社会福祉法人等代表者会議等に参加し、交流や情報交換をしていますが、現在は、コロナ感染症の影響で、電話等の交流に限られています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で、ご家族や本人より、情報を得て、職員間でアセスメント情報を把握し、ご本人が安心して暮らして行ける様、支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	初期に築く家族との信頼関係は大事にしています。より良い関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初期の対応では、ご本人とご家族で多少の違いがあることもあるので、必要としている支援を見極めるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	立場にこだわらず、家で暮らしているような家庭的な雰囲気作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族が来訪時などに、意見や要望を言って貰える様な環境作りを心掛けています。電話のやりとりなど、自由にして頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人が、希望されるお店に行ったり、知人との手紙のやりとり、電話、外出など自由にして頂き、馴染みの人や場所との関係が途切れない様、支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立しない様、注意を払っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了時には、困った時には、いつでも相談に来てくれるよう声掛けをしています。ご家族が、その後の経過や現在の様子を話しに来訪されることも多々あります。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人本位に支援出来る様、努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族から得た情報や生活歴などは、職員間で共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人記録に水分・食事・排泄・服薬・生活の様子等を記録し、現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	一カ月に一度は、ケアカンファレンス会議を開催し、職員間で話し合いをします。ご本人やご家族の希望も伺いながら、現状に即した介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録に水分・食事・排泄・服薬・生活の様子等を記録し、現状の把握に努めています。また、申し送りノートやケアカンファレンス会議等で、情報共有しながら介護の統一を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	外部受診など、ご家族が同行出来ない時には、施設で対応しています。ニーズには柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の方々からの情報や、運営推進会議等で得た情報を活かして、ご利用者が暮らしを楽しむ事が出来る様、支援しています。ボランティアの来訪（現在は中止）や児童館へご利用者と職員でダンボールを持って行ったりします。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な往診・一般検査・訪問看護・訪問歯科を実施しています。外部受診にも対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	月4回の訪問看護時に、職員は看護師にご利用者の体調の相談をしたり、アドバイスを受けています。また、看取りの方がいる時には、研修実施やきめ細やかなアドバイスを貰い、職員の不安感が軽減していると思います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院中には、ご家族や病院関係者と相談しながら、安心して治療を受けられるよう支援しています。また、早期退院を目指し、病院関係者との情報交換を密にしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用契約時に重度化した場合や終末期に向けた方針や事業所でできることの説明し、方針を共有します。状況を把握しながら、柔軟に対応出来る様、支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時連絡先を掲示しています。廊下掲示板に避難経路を掲示しています。消防署のBLS研修等を推奨しています。緊急時の対応は、毎年、法人研修のひとつになっているテーマです。実践力に関しては、十分とは言えないと思います。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練は年2回実施していますが、様々な場面を想定しての訓練は十分とは言えないと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	事業所理念・ケア理念・職員行動指針を玄関ホワイトボードに掲示し、出勤時や退勤時に確認出来る様にして、注意喚起しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者が日常生活の中で自己決定できるような声かけの支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースは大切にしています。なるべく希望に沿えるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日の衣服をご自分で選んで頂いたり、化粧やマニキュアを望まれるご利用者にはそのようにしています。訪問カットの際には、ご自分で髪型を決められたりします。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むき・もやしのひげ取り・お茶入れ・テーブル拭き・配膳・下膳・食器拭き等、ご利用者が職員と共に、出来る事はやっていただけるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事に関しては、タイヘイに依頼しており、栄養バランス・メニュー表・作り方納品等を行っています。調理は職員が主になって作ります。調理時に、職員が、その方の状態に合った形状にします。水分摂取量には注意しています。好みの物の買い物は、職員がしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、その人に合った口腔ケアを実施しています。月4回の訪問歯科の際に、助言・相談・指導を受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	電子記録入力のみではなく、排泄チェック表を用意し、紙面を見ればすぐわかる様、工夫しています。気持ち良く過ごしていただけるよう、自立に向けた支援に努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	電子記録入力のみではなく、排泄チェック表を用意し、紙面を見ればすぐわかる様、工夫しています。運動・食べ物・下剤等、排便には注意を払っています。自立に向けた支援に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴を楽しみにしているご利用者は、多いので、なるべく希望に沿える様にしています。しかし、入浴時間帯は決まっているので、その範囲内での希望に限られています。入浴剤や湯温などは、なるべく希望に沿える様、配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣やその時々状況に応じて休息や安眠出来る様、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	その日に服用する薬は、薬局からセットされたものを用いて、服薬支援しています。職員間で薬の情報は共有して、変更時の情報も速やかにし、病状の把握に努めています。服薬支援の時は、職員2人で、ダブルチェックしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	近隣の散歩は全員の方に支援していますが、時々、健脚の方同志で、少し遠出の散歩等もしています。また、喫煙希望の方には、職員付添のもと、ホーム庭の喫煙所まで同行支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的には、近隣の散歩をしています。コロナ感染症の影響で、例年どうりには、実施出来ていません。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員付添のもと、日用品の購入は、コンビニエンスストア等に行き、ご自分でお金を支払われている方もいます。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話や手紙のやりとりは、ご利用者の希望に沿って、支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアや廊下の壁には、季節感のある製作レクの作品やカレンダー、行事写真が掲示してあります。フロアのテーブルでの席は、決まっています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアのソファの位置を変えたり、植物を置いたり、花を飾ったり、くつろげる場所の工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人の希望に沿って、テレビや机を置いたり、ラジオを置いたり、ご自由にして頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	すべてバリアフリーとなっていて、安全かつ自立生活がおくれるように工夫されています。		

令和2年度



### 目標達成計画

事業所名 グループホームあいかわ

作成日： 令和3年 2月 6日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	備蓄管理表上では、数量のチェックはされていますが、(賞味期限含む)期限の切れた食品も含まれており、備蓄品の再点検を定期的にも期待されます。	災害発生時には、食料をはじめ十分な量の備蓄品で、対応出来る様にしたい。	保存食のチェック等を輪番制等にしたりして、日頃から、職員の防災に対する意識を高めていく。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月